

美浦トレセンでは何をしているの？

レースに出走する競走馬の、お世話やトレーニングをしているよ。

美浦トレセン（トレーニングセンター）は、JRA（日本中央競馬会）のレースに出走する競走馬の調教を行う場所なんだ。そして、レースで活躍する競走馬の調教やお世話をするのがJRA 厩舎スタッフのお仕事。みんな馬が大好きだよ！

JRA 厩舎スタッフ（一般社団法人日本調教師会 関東本部）



馬のゼッケンに
つけた IC タグで
タイムが分かるんだ！

競走馬と心を通わせ、名馬を育てる仕事



トレーニングの前に調教師や調教助手でミーティング。ビデオを見ながら馬の動きや状態を観察し、効果的なトレーニングコースを決めます。

それぞれの馬に
合った方法で
能力を引き出すのね



美浦トレセンは東京ドーム 48 個分の敷地に約 100 の厩舎と約 2,000 頭の馬がいる日本最大級の施設。高低差や地面の素材（土や芝など）が異なるさまざまなコースがあります。

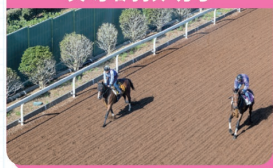


調教師



調教メニューや出走レースを決める厩舎の責任者。

攻専調教助手



厩舎が管理するすべての馬の調教を専門に行います。

持乗調教助手



厩務員として担当馬のお世話と、厩舎の馬に乗って調教もします。

厩務員



馬房の掃除や馬の手入れ、調教前の準備運動などを行います。

はたらく人に聞いてみた！



INTERVIEW

馬に乗ってトレーニングをしたり、体に異常がないか確認する仕事をしています。携わった馬が勝った時や、一生懸命走って無事にゴールしてくれると嬉しいです。馬と一緒に成長できる、他の仕事では経験できない面白さがあります。

攻専調教助手

松浦 達彦 さん



INTERVIEW

レースに向けて担当馬を調教したり、日常的なお世話をしています。夏は朝早く、冬は雪が降る中でのトレーニングなど、体力仕事で大変ですが、担当した馬がレースで良い結果が出ると、頑張ってきて良かったと、やりがいを感じます。

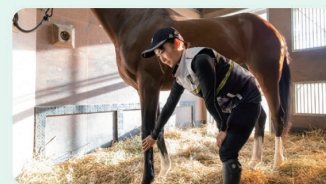
持乗調教助手

齋藤 淑美 さん



持乗調教助手の1日の仕事

1.馬体チェック



馬がケガをしていないか、何か変わった様子はないかなど毎日その日の馬の状態を確認します。

2.馬房清掃



馬の部屋に敷かれた藁やチップを掃除します。健康のためにも大切な仕事です。

3.馬装・調教



馬に乗る前に鞍や頭絡、アブリなど騎乗に必要な馬具を装着します。準備運動の後、調教コースへ。

4.お手入れ



運動後はシャワーでさっぱり。馬にとって大事なひづめの裏まで、キレイにお手入れします。

5.エサ作り・付け



馬のごはんである穀類や豆類などの補助飼料を、1頭ごとに量や配分を調整して与えます。

レース（開催日のみ）



厩舎スタッフが大切に育て管理し、調教した馬を最高のコンディションでレースに出走させます。

ここにも
注目!!



早朝から働くスタッフにうれしい、朝から食事ができる食堂。



年に数回、厩舎でのお仕事見学会を開催。（応募多数の場合は抽選）



茨城県稲敷郡美浦村美駒2500-2 美浦トレーニングセンター内 029-885-1626
 会社ができた年:1951年 人数:1,151名 <https://www.ijta.or.jp/>